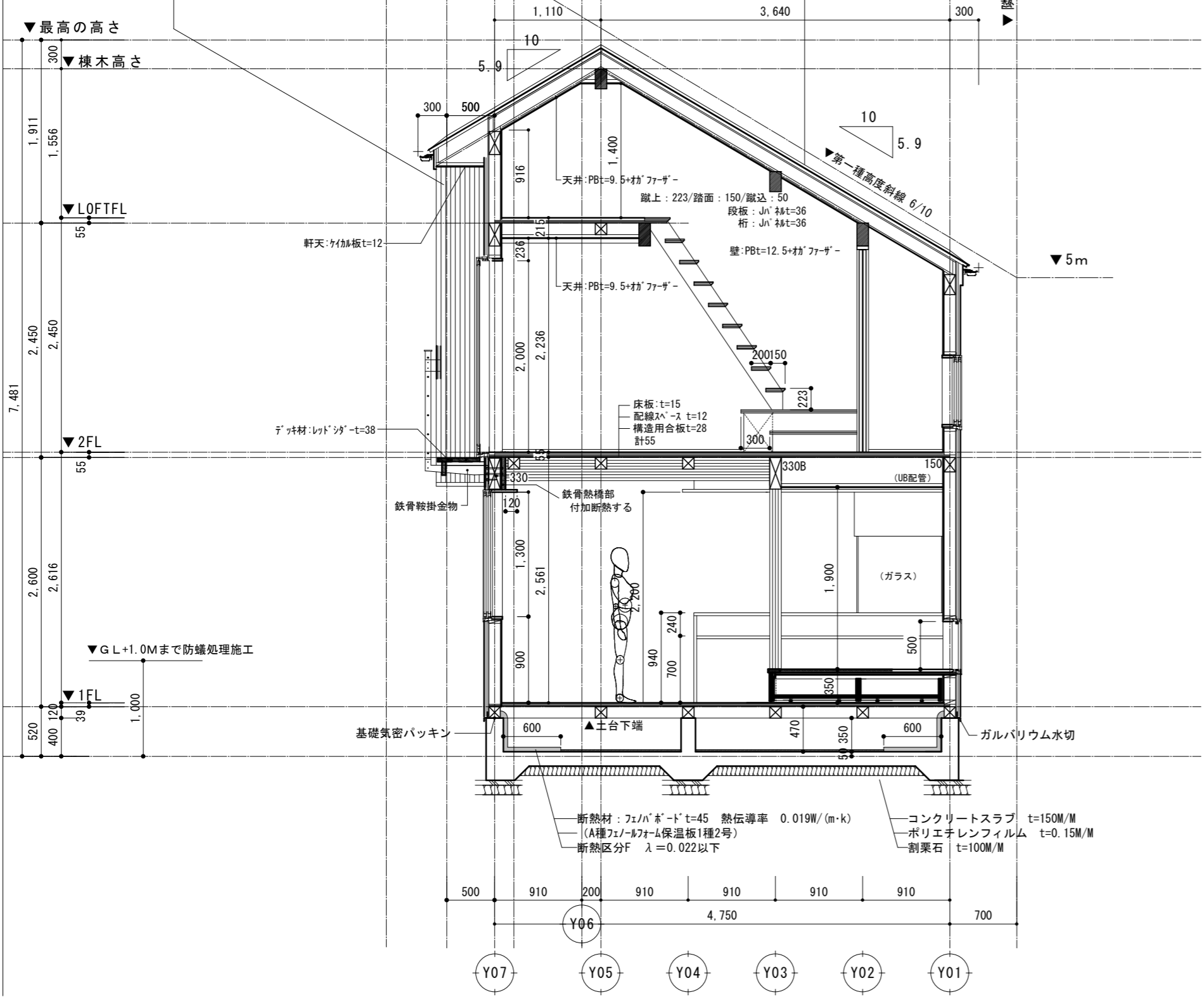


A

ガルバリウム鋼板 $t=0.4$ (平葺) $t=0.4\text{mm}$ (不燃材料認定番号 NM-8697)
 通気層 $t=20$ (通気胴縁 桧 20×45)
 透湿防水シート [米ダウ] ケザー・マトラス
 モイス $t=9.5$
 (防火構造30分認定番号 PC030BE-0799)
 (防火構造30分認定番号 PC030BE-0800)
 (防火構造30分認定番号 PC030BE-0801)
 アクリアネクスト α $t=105$
 (高性能20Kタイプ・熱抵抗値 $3.1(\text{m}^2\cdot\text{K}/\text{W})$
 (室内側防湿気密シート付き) 断熱区分C $\lambda=0.034$

【屋根断熱工法】
 ガルバリウム鋼板 $t=0.4$ 立平葺き (不燃材料認定番号 NM-8697)
 野地板: 耐水合板 $t=12$
 通気層: 垂木 30×40
 防水紙: ルーフラミテクト (アスファルトルーフィング940同等品以上)
 野地板: 構造用合板 $t=12$
 垂木: $45\times 120@455$
 断熱材: フェノールフォーム $t=100$ 熱伝導率 $0.019\text{W}/(\text{m}\cdot\text{k})$
 (A種フェノールフォーム保温板1種2号) 断熱区分F $\lambda=0.022$ 以下
 垂木: $45\times 90@455$ (H=92)
 構造用合板 $t=28$
 断熱材: フェノールフォーム $t=90$ 熱伝導率 $0.019\text{W}/(\text{m}\cdot\text{k})$
 (A種フェノールフォーム保温板1種2号) 断熱区分F $\lambda=0.022$ 以下
 登梁: $120\times 150@910$



1FL仕様

天井	壁	床
せっこうボード $t=9.5$ 一部梁化粧	せっこうボード $t=12.5$ 一部キッチン化粧	和イタダ(工) $t=15\text{M}/\text{M}$

2FL仕様 ※Sの下地を耐水PB又は耐水ペーパーとする。

天井	壁	床
せっこうボード $t=12.5$ 一部梁化粧	せっこうボード $t=12.5$	和イタダ(工) $t=15\text{M}/\text{M}$

小屋裏収納仕様

天井	壁	床
せっこうボード $t=12.5$	せっこうボード $t=12.5$	和イタダ(工) $t=15\text{M}/\text{M}$

地域区分	6地域	断熱工法の種別	充填断熱工法	相当隙間面積	5.0cm ² /m ² 以下
------	-----	---------	--------	--------	---------------------------------------

断熱材の種類と厚さ

部位	材料
屋根	Aフェノールフォーム保温板 (Fランク) 積水化学工業㈱ フェノバボード ($\lambda=0.019$) $t=100\text{mm}$ →R値= $t/\lambda\cdot 1000=5.26>4.6$ 積水化学工業㈱ フェノバボード ($\lambda=0.019$) $t=90\text{mm}$ →R値= $t/\lambda\cdot 1000=4.73>4.6$
壁	アクリアネクスト α $t=105$ (高性能グラスウールM36K相当・熱抵抗値 $3.3(\text{m}^2\cdot\text{K}/\text{W})$) →R値= $t/\lambda\cdot 1000=3.3>2.2$
基礎 (床・立上がり)	A種フェノールフォーム保温板 (Fランク) 積水化学工業㈱ フェノバボード ($\lambda=0.019$) $t=45\text{mm}$ →R値= $t/\lambda\cdot 1000=2.3>1.7$
基礎 (その他の床)	A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種 (Eランク) 積水化学工業㈱ スタイロエースII ($\lambda=0.028$) $t=20\text{mm}$ →R値= $t/\lambda\cdot 1000=0.71$

断熱材性能低下対策	内部結露防止対策
<ul style="list-style-type: none"> ・隙間無く施工 ・屋根と壁、壁と床取り合い部断熱材充填 ・間仕切り壁の上下部と他部位との取合い部に通気止め木材設置 ・屋根と壁、壁と床取り合い部に通気止め木材設置 ・埋め込み型の照明は断熱材で被うことができるもの。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防湿層の設置: 防湿フィルム$t=0.1\text{mm}$ ・床下通気 (基礎断熱工法) ・基礎の立上り幅は15cm、外周部は18cm

開口部の断熱性能

窓	アルミ樹脂複合・一重複層 空気層10mm以上
玄関引き戸	K4

外壁の軸組等の	外壁の構造	外壁通気構造 $t=20\text{mm}$
防腐防蟻	柱の樹種、小径	樹種: 杉・RW集成 通し柱120, 管柱120mm
	柱以外 (通気胴縁)	ヒノキ
	外壁下地材	モイス
土台の防腐防蟻		ヒノキ120角、外壁下端に水切り
地盤の防蟻	鉄筋コンクリート ベタ基礎 $t=150\text{mm}$ (外周部は $t=180\text{mm}$)	
基礎高さ	地盤面から基礎立上り上端まで $H=400\text{mm}$	
床下防湿・換気	防湿	鉄筋コンクリートベタ基礎 $t=150\text{mm}$
	換気	室内扱い
小屋裏換気	1F	該当部なし
	2F	該当部なし (屋根断熱の為)

気密補助材について
 板状の気密材の相互の継目又はその他の材料との継目は、気密補助材により隙間が生じないように施工する
 気密層を配管、配線その他これらに類するものが貫通する部分においては、気密補助材によりこれらの周囲に隙間が生じないように施工する。

※GL+1.0M以下は防蟻処理施工
 ※基礎立ち上がり巾 外部18cm、内部15cm、立上り高さGL+400
 ※接合部等にはZマーク表示同等金物を原則として使用
 ※一階部分は構造材、羽柄材は全てD1樹種を使用、土台については特定D1樹種を使用
 ※一階外周部の耐力壁は無機質系建材 (モイス又は石膏ボード) を使用
 ※外壁部、通気層20とする
 ※小屋裏空間は小屋裏収納の壁の点検口より点検出来る。
 ※床下の点検について: Eを除く全てを床下点検口から行う。

OKANIWA STYLE

A-0

Category
 新築工事

Title
 矩計図
 1

Date
 2019.01.15

Drawn
 tanaka

Scale
 1/50

Check

Change Days

Use

OKANIWA DESIGN